



第18航空団広報局

沖縄市の恒例の祭り、沖縄国際カーニバル2009が11月21日と22日の2日間、嘉手納基地第2ゲート前のコザ・ゲート通りを主たる会場として開催されました。嘉手納基地から多くの家族連れが祭り会場を訪れ、国際色豊かな沖縄市のチャンプルー文化を満喫しました。開会式が土曜日午後1時からからミュージックタウン広場で行われ、第18航空団を代表して第18任務群司令官ケリーE.フレッチャー大佐が出席しました。その後、「コザ絵巻パレード」には、実行委員会のメンバーとして、沖縄市の東門美津子市長はじめ、議会、商工会議所の代表者とともに、第18航空団副司令官レニー・リシュー大佐、フレッチャー大佐がパレードに参加し、沖縄市パークアベニュー、国道330号線、ゲート通りを歩き市民祭を祝いました。嘉手納基地から他にパレードに参加したのはカリビアン伝統協会とオベレスク・テンプルの約50名で、色鮮やかな衣装を身にまとい、沖縄市の豊かな国際性をアピールしました。

カーニバルのハイライトである「国際大綱引き」に、兵長以下の下士官で構成される「Airmen Committed to Excellence (高志航空兵の会)」(通称ACE)という団体から約150名のボランティアが参加し、地元の参加者と一緒に重さおよそ5トンの綱よせを行いました。2本の綱は前長およそ100メートルもある大綱で、カーニバル開催の一週間前、基地内から約20名のボランティアと地域住民が一緒に仕上げた大綱です。綱引き前に挨拶をしたリシュー大佐は、綱を引くことによりお互いの友好親善がさらに強まると言え、基地内の住民、沖縄市民とともに肩を寄せ合いながら綱引きに力を込めました。

2009 OKINAWA KOKUSAI CARNIVAL



写真 R: 米空軍レイ・ラモニー等軍曹撮影

写真 G: 米空軍アマンダ・グラビック上等兵撮影

Cookie Drive



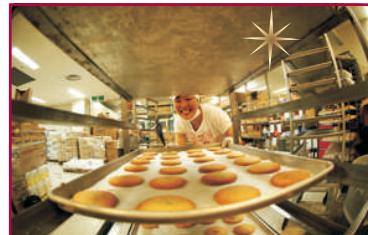
(クッキー・ドライブの写真全て、米空軍レイ・ラモニー等軍曹撮影)

イルミネーション

第18航空団広報局

サンクスギブン・デイも終わり、いよいよ年末に向けて休日を家族や親しい友人らと楽しむ季節がやってきます。嘉手納基地でも12月5日(土)シリングレクセンター前広場でイルミネーションの点灯式が行われました。ミニパレードや、バンドによるコンサート、即席キッズランドも建てられ大勢の家族連れで賑わいました。午後5時半には、第18航空団司令官も出席していよいよ点灯式が行われ、これから嘉手納基地の住居地はクリスマスマードが高まります。

嘉手納基地にはたくさんの独身兵・単身赴任者がいます。家庭の味から遠のいている彼らに手作りクッキーを焼いて届けるというプロジェクトがありました。名づけて「クッキー・ドライブ」。基地内のご婦人方が実行委員を作り、クッキーの生地や材料を寄付で集め、クッキーを焼くボランティアを募り、4日間で総数20,000枚余のクッキーを焼き上げました。その作業に地元の学生も協力してくれました。日経ビジネススクールと嘉手納外語塾の生徒の皆さんも11月18日、ボランティアで参加し、基地内のご婦人方と一緒に生の英会話も楽しみながらクッキーの型取り、デコレーション、袋詰めなどを手伝いました。



(点灯式の写真全て、米空軍クリストファー・ハメリニ等軍曹撮影)



Happy Holidays! *



クリスマスツリー点灯式 TREE LIGHTING CEREMONY

SKOSHI KADENA

2009年の主な出来事 ●

第18航空団広報局

1月

JANUARY



第27戦闘中隊F-22最新鋭戦闘機12機が要員250名とともにバージニア州ラングレー空軍基地から到着。2007年2月に引き続き2度目の嘉手納基地への展開でした。4月に帰還。



2月

FEBRUARY

沖縄マラソン



3月

MARCH



沖縄防衛局主催、嘉手納町及び嘉手納基地の家族を対象とした日米スポーツ・文化交流会が嘉手納町ロータリープラザで開催されました。障害物競走や、サンシン教室、料理教室に多くの町民、基地の住民が参加し隣町同士親善交流を深める良い機会となりました。

世界的規模で行われる地球環境を考えるアース・デー。嘉手納基地の団体も植林、ビーチ清掃などでアースデー活動を応援しました。

4月
APRIL



5月 MAY



那覇ハーリー。米国から来た軍人、軍属、家族にとって、東洋の伝統あるドラゴンボートレースに参加できることは大変な喜びのようです。今年も空軍から男女各1チーム参加し、4ヶ月の練習の成果を披露してくれました。

今年2回目となるF-22機の展開が始まりました。前回同様ラングレー基地所属、第94戦闘中隊の12機でした。10月に帰還。



嘉手納基地では、年間を通して英語ボランティア、地域清掃活動といった、様々なボランティア活動を行っており、地元の人々との交流を大切にしています。



7月
JULY

第18航空団司令官交代があり、指揮がブレット・ウイリアムズ准将からケン・ウィルズバック大佐へ交代しました。ウィルズバック大佐はその後准将へ昇格しました。



46年ぶりの皆既日食の中を飛行するF-15。



6月
JUNE

AmericaFest 09



アメリカフェスト



8月

AUGUST



の軍人の家族を対象に、所定の居住率を満たすまで基地内家族住宅に住むことを優先する規則を開始しました。単身赴任者（一部を除き）は該当しません。

第18航空団の上級司令部である太平洋空軍の新司令官ゲイリー・ノース大将がハワイ州ヒツカム基地へ赴任しました。

沖縄の旧盆期間中（3日間）、第18航空団所属の航空機訓練を自粛しました。

9月

SEPTEMBER



嘉手納スペシャルオリンピックス関連事業で、ボウリング大会が北谷町シーサイド美浜ボウルで開催されました。参加者およそ200名、米人、日本人ボランティアおよそ90名が参加し、言語の代わりにスマイルとハイタッチが会場内のコミュニケーション・ツールでした。



嘉手納弾薬庫地域内で火災が発生。74号線近くの現場は、日米双方の消防士による消火活動によって、およそ11時間後に鎮火し、けが人はありませんでした。日本側警察の調べによると、黙認耕作者が前日に燃やした廃材等が火元であったとのことでした。

10月

OCTOBER



嘉手納スペシャルオリンピックス関連事業で、アート展示会がサンエー具志川メインシティで開催されました。知的発達 身体障がいのある生徒 成人の作品334点を一同に展示し、障がい者のもつ才能 技能に対する理解を深める機会を提供しました。



11月

NOVEMBER

沖縄市国際カーニバル、嘉手納町主催英語スピーチコンテスト

12月

DECEMBER



ホリデー シーズンと呼ばれるこの時期、基地内の部隊が地元の支援の必要な団体へ寄付・寄贈活動が行われました。

スコシ・カデナ 2009年